

オール電化を採用した「ホテル・スイート神戸ハーバーランド」(神戸市中央区)が、世界の高級ホテルブランドとして知られる「スモール・ラクシャリー・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド」(SLH、英国)に日本のホテルとして初めて加盟した。毎年数百の申し込みの中から5%程度しか承認されない狭き門だという。広報担当者は「加盟は念願だった。設備やサービスに加え、火を使わない安全性、災害時の復旧の早さ、環境性も評価されたのではないか」と話している。

日本で初、狭き門、突破



極上のくつろぎの空間にオール電化が貢献
(写真は客室内の大型ジェットバス)

世界の高級ブランドに

全電化ホテルが加盟

神戸

同ホテルは11階建て、総客室数は70室。全室が広さ70平方メートル以上、ヨーロッパ調に統一したスイート仕様で、大型ジェットバス、神戸港を一望できるテラスを備える。女性専用サロンには、客室フロアから専用エレベーターで直行可能だ。すべての宿泊客にパトラー(執事)が付き、きめ細かいサービスを提供する。

レストランは、地産地消をコンセプトに「神戸牛」「明石鯛」などの地元食材を中心としたメニューを用意。また、

エレガントな大人の社交場、ワイン、フラワーアレンジメントに関するイベントを開催し、好評を博している。神戸空港から車で約15分、JR神戸駅から徒歩約10分と立地条件も良い。

08年11月の開業以来、メーターにたびたび取り上げられるなど注目を集め、客室稼働率は80%を維持、週末は満室が続いているという。

今回加盟したSLHは、独立系の小規模かつ高級なホテルで構成される富裕層をター

安全・環境性も評価

ゲットにしたブランド。古城ホテル、カントリーハウスなど特色ある宿泊施設が加盟し、世界70カ国以上で500軒を超える。日本では「星のや 軽井沢」星のや、京都」に次いで3番目、ホテルでは初めて。

同ホテルは地域熱供給を受けられる区画エリアに立地しているものの、環境性、安全性、経済性の観点からオール電化を採用した。その付加価値がホテルの評価を高める上で少なからず貢献したといえる。

電 気 新 聞

市場
クリー
.12 ▶ 7.16

終盤、ピーク価格が高騰

スポット取引

(ピーク平均)で前週比が、これが中長期的な下
1円7銭高、最安値は13レンドになるかは21日渡